

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	専門英語 2	
科目基礎情報							
科目番号	5A23			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	はじめての船上英会話：商船高専海事英語研究会（海文堂）						
担当教員	菊森 詩織						
到達目標							
航海、運用術、法規、計器種など専門知識を十分に理解し、なお且つ外国人船員等との業務上英会話が成立する必要がある。従って海事英語により、どの分野で、どのような内容が記載されているかを理解し、職務上の英会話が成り立つようにする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
海事英語の基礎力を身につける	習った単語、フレーズを利用して文章を作り自ら正しい表現することができる			習った単語、フレーズを利用した文章を理解できる		習った単語、フレーズを利用した文章を理解できない	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教養 C1 専門 E3							
教育方法等							
概要	千条でのコミュニケーション方法としての英会話がスキルとして身につくように努める。						
授業の進め方・方法	海事に関わる専門用語になれるように必要に応じて参考プリントを配布する。						
注意点	関連科目：英語、専門英語 1						
実務経験のある教員による授業科目							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、Navigational condition, Traffic condition		位置・方位・針路・距離・時刻の表し方や自船の航海況と周囲の船舶の状況を報告するフレーズを分かる		
		2週	Navigational condition, Traffic condition		位置・方位・針路・距離・時刻の表し方や自船の航海況と周囲の船舶の状況を報告するフレーズを分かる		
		3週	Maritime communication phrases		海上特殊無線技士英会話試験過去問を活用し航海に関する英会話を理解できる		
		4週	Maritime communication phrases		海上特殊無線技士英会話試験過去問を活用し航海に関する英会話を理解できる		
		5週	Weather				
		6週	Course alteration				
		7週	Maritime communication phrases		過去の試験問題を活用し気象、海象の報告及び針路に関する英会話を理解できる		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	Safety instructions		船内における安全上の注意、安全行動に関する事項や指示に関するフレーズを理解できる		
		10週	Safety instructions		船内における安全上の注意、安全行動に関する事項や指示に関するフレーズを理解できる		
		11週	Maritime communication phrases		過去の試験問題を活用し安全確認や安全管理に関する英会話を理解できる		
		12週	Maritime communication phrases		過去の試験問題を活用し安全確認や安全管理に関する英会話を理解できる		
		13週	Communication with a VTS center		VHF無線電話により陸上のVTSセンター等や他の船舶と通信行う場合のフレーズを理解できる		
		14週	Communication with other vessels				
		15週	Maritime communication phrases		過去の試験問題を活用した読解学習で安全や通信状況に関する英会話を理解できる		
		16週					
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	10	0	10	0	0	100
知識の基本的な理解	80	10	0	0	0	0	90
主体的・継続的な学習意欲	0	0	0	10	0	0	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0